

PHASE プログラム 短期交流プログラム 令和6年度 募集要項

目 的：

- ①ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを実体験する。
- ②体験に基づくプラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。

実施期間：

令和7年3月3日(月)～3月13日(木)※予定

実施方法：

ケニアでの実地研修

※PHASE プログラムより派遣される本学教員が引率します。

行 程：

別添1「行程表」をご確認ください。

シラバス：

別添2「PHASE プログラム 短期交流プログラムシラバス（令和6年度）」をご確認ください。

募集対象：

全学部・全研究科のすべての学生

募集人数：

5名 ※応募者多数の場合は担当教員による選考にて決定

費 用：

PHASE プログラムから支弁	自己負担
- ケニア国内宿泊費 - ケニア国内移動用車両代 - OSSMA Plus（危機管理サービス）会費 - 海外旅行保険料 - 黄熱ワクチン接種料 （但し、相談料は自己負担）	- 往復航空券代（長崎⇄ナイロビ）※約25万円 - ケニア国内航空券代（ナイロビ⇄ビタ）※約2万円 - 生活費 （食費、SIM代、土産代、自由参加のプログラム代等） - 交通費（日本国内移動費用） - パスポート及びビザ取得にかかる費用

応募〆切：

令和6年11月29日（金）

応 募：

所属学部/研究科の学務係まで

「1. 氏名（フリガナ）、2. 学籍番号、3. 所属学部/研究科・専攻、4. 学年、5. メールアドレス、6. TOEIC、IELTS、TOEFL iBTなどのスコア」を連絡してください。

PHASE プログラムとは・・・（<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/phase-program/>）

文科省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された本学プログラム『プラネタリーヘルスの実現に向けた日ア戦略的共同教育プログラム』

日本とアフリカの学生による、地球規模の課題解決を目指した学術交流プログラムです。

別添1

行程表

日程		内 容	実施場所	宿泊先
【1日目】 3月3日（月）	移動	移動日（長崎発） 長崎→羽田/成田→ドバイ→ナイロビ		機中泊
【2日目】 3月4日（火）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ着）		ナイロビ泊
【3日目】 3月5日（水）		ナイロビ→ビタ移動 フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【4日目】 3月6日（木）		フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【5日目】 3月7日（金）		フィールド活動	ビタ	ビタ泊
【6日目】 3月8日（土）		ビタ→キスム移動 成果報告会準備	キスム	キスム泊
【7日目】 3月9日（日）		成果報告会、マセノ大学表敬訪問 キスム→ナイロビ	キスム	ナイロビ泊
【8日目】 3月10日（月）		サファリ（希望者） PHASE 参画大学表敬訪問	ナイロビ	ナイロビ泊
【9日目】 3月11日（火）	移動	移動日（ジョモ・ケニヤッタ発） ナイロビ→ドバイ→成田/羽田		機中泊
【10日目】 3月12日（水）	移動	移動日（成田/羽田着）		成田/羽田泊
【11日目】 3月13日（木）	移動	移動日 成田/羽田→長崎		

※PHASE プログラムより派遣される教員が引率します。

※内容は現時点での予定です。ケニア側との調整により変更になる場合もございます。

PHASEプログラム 短期交流プログラム 令和6年度シラバス

授 業 概 要 情 報	担当教員Eメールアドレス／E-mail address	skaneko@nagasaki-u.ac.jp
	担当教員研究室／Instructor office	長崎大学熱帯医学研究所 ケニア拠点
	担当教員TEL／Tel	内線 7866
	担当教員オフィスアワー／Office hours	17:00-18:00 (Wed)
	授業の概要及び位置づけ／Course overview and relationship to other subjects	PHASEプログラム短期研修は、PHASEプログラムへの導入部であり、アフリカに不慣れな学生が、環境・文化・社会の相違を理解し、地球の健康に関する学習と協力を共同して実施するための基礎情報を共有する場と位置付ける。オンライン交流プログラムにより、訪問前のケニア側学生との対話と情報共有を行った後、ケニアを10日間程度訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを実体験する。
	授業到達目標／Course goals	ケニアの辺縁地（長崎大学ケニア拠点フィールド）を訪問し、アフリカでのプラネタリーヘルスを実体験し、体験に基づくプラネタリーヘルスを英語により議論ができるようになる。
	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ／Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons	知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 ■主体性／Autonomy ■汎用的能力／Generic Competence □倫理観／Ethics ■多様性の理解／Understanding Diversity ■協働性／Cooperativeness ■考えをやり取りする力／Ability to exchange ideas ■国際・地域社会への関心／Interest in international / local society
	学生の思考を活性化させるための授業手法 ／Lesson method to stimulate students' thinking	■A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えたりする活動（質問への回答、授業内の小レポート、小テスト、振り返りシート、コメントシート、クリッカーなど） ■B.多角的に考えるために他者と関わる活動（ペアワーク、グループワーク、ディベート、ディスカッションなど） □C.技能習得のために実践する活動（問題演習、体験学習、実験、実習、実技、フィールドワークなど） □D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動（企画立案、論理的な解の提示、プロジェクト学習、卒業研究） □E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法（自由記述） □F.教員からの講義のみで構成される
	成績評価の方法・基準等／Grading	ケニア研修への参加（50点）、ケニアでの討論（英語）への参加（50点）
	各回の授業内容・授業方法（学習指導方法） ／Class content and format	ケニアに渡航し、現場での体験をしながら、プラネタリーヘルスを考える。
	事前・事後学修の内容／Preparation & Review	（事前学習）PHASEプログラムオンライン交流プログラムへの参加
	キーワード／Key word	アフリカ、プラネタリーヘルス
	教科書・教材・参考書 ／Textbook, Teaching material, and Reference book	河野茂（長崎大学前学長）総監修 プラネタリーヘルス～私たちと地球の未来のために～
	受講要件（履修条件）／Prerequisites, etc.	ケニア渡航に関する準備
	学生へのメッセージ／Message to students	ケニアに興味のある学生（英語力が必要）を待っています。
	実務経験のある教員による授業科目であるか （Y／N） ／Subject by teachers with practical experiences (Y/N)	Y

No.	日程	授業内容 class contents
1	2025/3/3	移動日
2	2025/3/4	移動日
3	2025/3/5	ケニアでの移動、フィールド活動①
4	2025/3/6	フィールド活動②
5	2025/3/7	フィールド活動③
6	2025/3/8	ケニアでの移動、成果報告会準備
7	2025/3/9	成果報告会、PHASE参画大学表敬訪問①、ケニアでの移動
8	2025/3/10	PHASE参画大学表敬訪問②
9	2025/3/11	移動日
10	2025/3/12	移動日
11	2025/3/13	移動日